

第 1 章

スマホ・ケータイの 所有・利用状況

第1節 所有・利用状況

——誰がどんなケータイを
どのように使っているか

第2節 料 金

——どれくらい支払っているか

第3節 通信回線

——家／屋外では何とつながっているか

第1節 所有・利用状況

——誰がどんなケータイをどのように使っているか

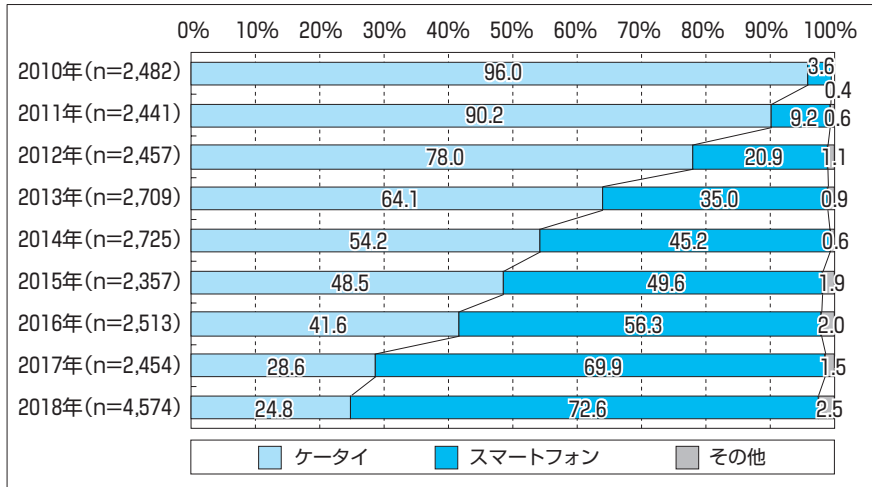
◆ポイント◆

- スマートフォン所有率（2台目まで含む）は74.3%（資料1-3）。
- MVNO利用率（2台目まで含む）は11.3%（資料1-5）。
- Appleが1台目、2台目ともにメーカーシェアトップ（資料1-7, 資料1-8）。
- 端末の平均所有期間はケータイが4年11ヶ月、スマートフォンが1年9ヶ月（資料1-9）。
- スマホ・ケータイの買い替え時に重視する点は1位が端末価格, 2位が通信料の安さ（資料1-11）。

資料 1-1 最もよく利用するスマホ・ケータイ（1台目）（SA）

- 2018年の「スマートフォン」所有率は72.6%。
- Android・iPhone別では、2018年の「Android」所有率は49.4%、「iPhone」所有率は50.6%。

◆全体



注1：スマホ・ケータイ所有者が回答。

注2：「わからない」を除く。

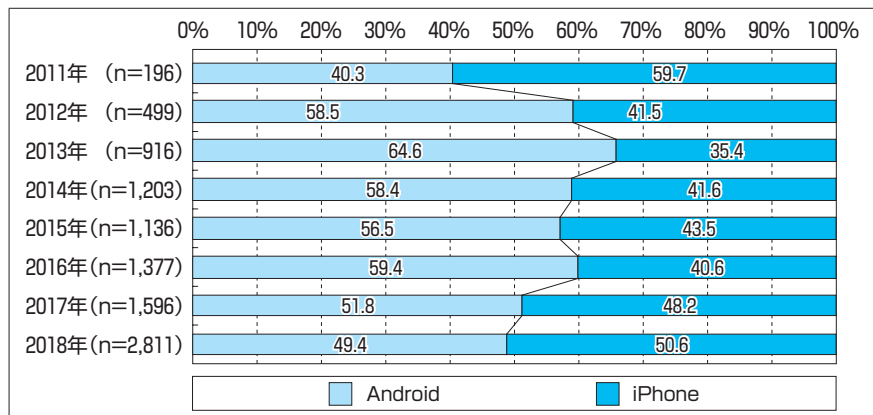
注3：「ケータイ」は「シニア向け以外の従来のケータイ（PHSまたはいわゆるガラケー）」
「シニア向けの従来のケータイ（らくらくホンなど）」の合計。

注4：「スマートフォン」は「Android」「iPhone」「Windows MobileがOSのもの」「シニア向けスマートフォン」「タブレット（AQUOS PAD, ARROWS Tab, iPadなどで、通信回線契約をしているものに限る）」の合計。

注5：「その他」は「モバイルルータ、データ通信USB」「その他」の合計。

出所：2010年-2018年一般向けモバイル動向調査

◆Android, iPhone別

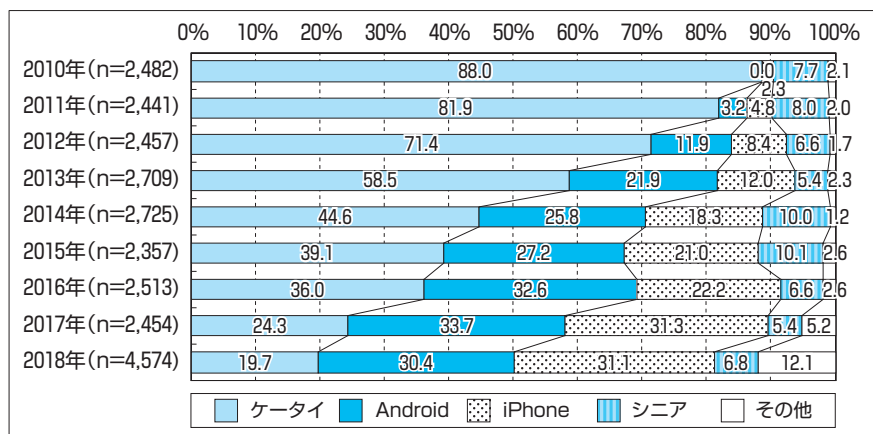


注1：AndroidもしくはiPhone利用者が回答。

注2：「わからない」を除く。

出所：2011年-2018年一般向けモバイル動向調査

◆内訳



注1：スマホ・ケータイ所有者が回答。

注2：「わからない」を除く。

注3：「ケータイ」は「シニア向け以外の従来のケータイ（PHSまたはいわゆるガラケー）」を集計。

注4：「シニア」は「シニア向けの従来のケータイ（らくらくホンなど）」「シニア向けのスマートフォン（らくらくスマートフォンなど）」を合計。

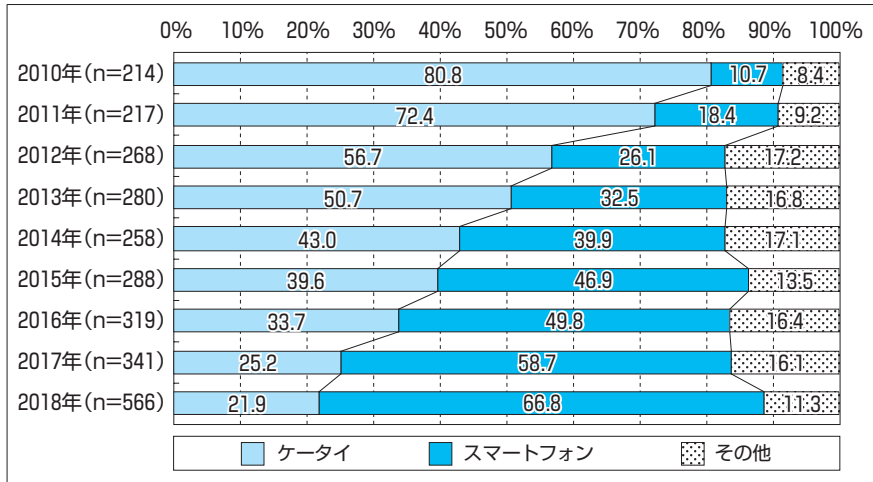
注5：「その他」は「Windows MobileなどAndroidやiPhone以外のスマートフォン」「タブレット（AQUOS PAD, ARROWS Tab, iPadなどで、通信回線契約をしているものに限る）」「モバイルルータ、データ通信USB」を合計。

出所：2010年-2018年一般向けモバイル動向調査

資料 1-2 スマホ・ケータイの種類（2台目）（SA）

- 2018年の「スマートフォン」所有率は66.8%。
- Android・iPhone別では、2018年の「Android」所有率は58.0%、「iPhone」所有率が42.0%。

◆全体



注1：スマホ・ケータイ所有者が回答。

注2：「わからない」を除く。

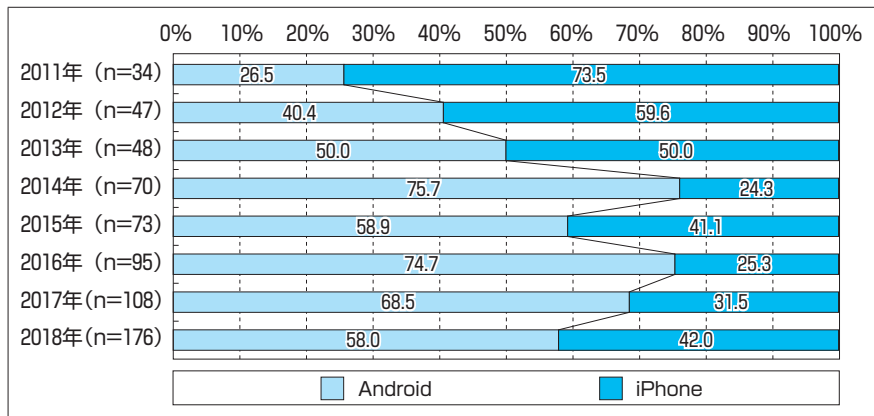
注3：「ケータイ」は「シニア向け以外の従来のケータイ（PHSまたはいわゆるガラケー）」
「シニア向けの従来のケータイ（らくらくホンなど）」の合計。

注4：「スマートフォン」は「Android」「iPhone」「Windows MobileなどAndroidやiPhone以外
のスマートフォン」「シニア向けスマートフォン」「タブレット（AQUOS PAD、
ARROWS Tab、iPadなどで、通信回線契約をしているものに限る）」の合計。

注5：「その他」は「モバイルルータ、データ通信USB」「その他」の合計。

出所：2010年-2018年一般向けモバイル動向調査

◆Android, iPhone別

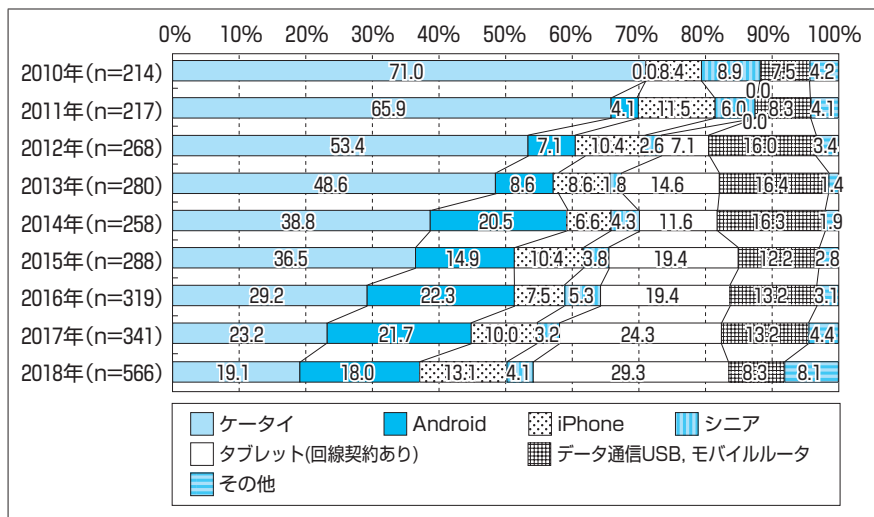


注1：AndroidもしくはiPhone利用者が回答。

注2：「わからない」を除く。

出所：2011年-2018年一般向けモバイル動向調査

◆内訳



注1：AndroidもしくはiPhone利用者が回答。

注2：「わからない」を除く。

注3：「ケータイ」は「シニア向け以外の従来のケータイ（PHSまたはいわゆるガラケー）」を集計。

注4：「シニア」は「シニア向けの従来のケータイ（らくらくホンなど）」「シニア向けのスマートフォン（らくらくスマートフォンなど）」を合計。

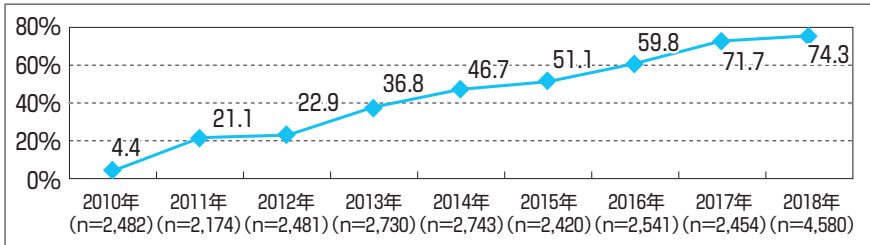
注5：「その他」は「Windows MobileなどAndroidやiPhone以外のスマートフォン」を合計。

出所：2010年-2018年一般向けモバイル動向調査

資料 1-3 スマートフォン所有率（2台目まで含む）（SA, 性・年代別）

- スマートフォン所有率は年々増加。
- 2018年のスマートフォン所有率は74.3%。
- 2018年のスマートフォン所有率は男女でほぼ差はない。
- 2018年のスマートフォン所有率は性年代別では、15歳～39歳の女性のスマートフォン所有率が同年代男性より高い。

◆スマートフォン所有率/全体



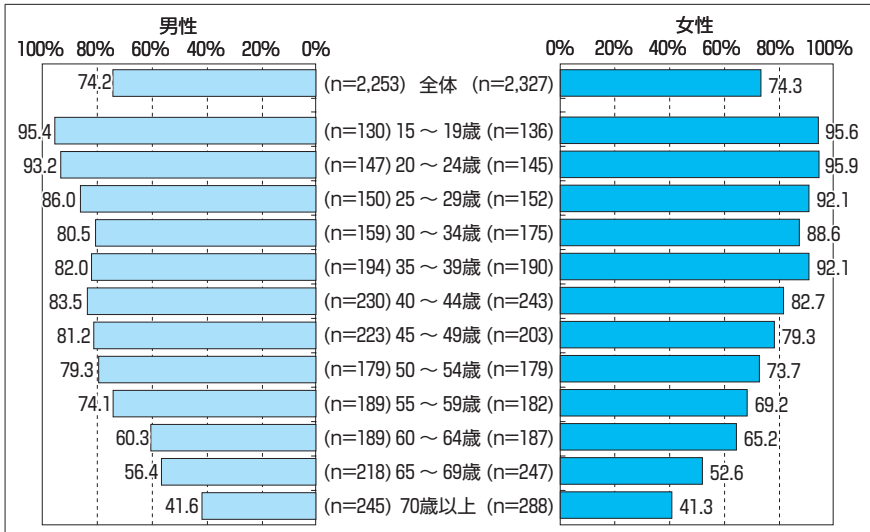
注1：スマホ・ケータイ所有者が回答。

注2：「わからない」を除く。

注3：1台目もしくは2台目にスマートフォン所有と回答した場合をスマートフォン所有として算出。

出所：2010年-2018年一般向けモバイル動向調査

◆スマートフォン所有率/性・年代別



注1：スマホ・ケータイ所有者が回答。

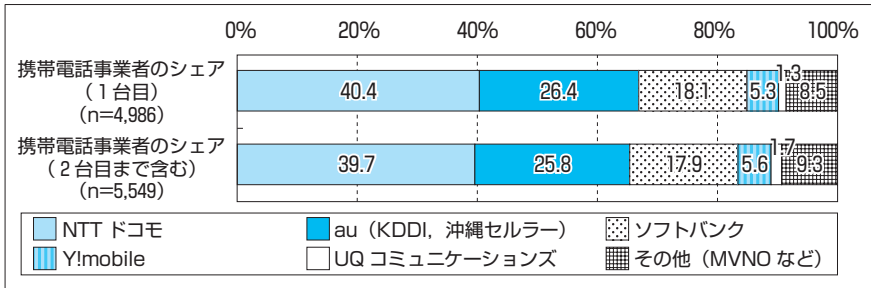
注2：「わからない」を除く。

注3：1台目もしくは2台目にスマートフォン所有と回答した場合をスマートフォン所有として算出。

出所：2018年一般向けモバイル動向調査

資料 1-4 携帯電話事業者のシェア (SA)

- 携帯電話事業者のシェア (1 台目) は、「NTTドコモ」(40.4%)、「au」(26.4%)、「ソフトバンク (Y!mobile含む)」(23.4%) の主要 3 社で 8 割を超える。
- 携帯電話事業者のシェア (2 台目まで含む) は主要 3 社以外の比率がやや高まる。



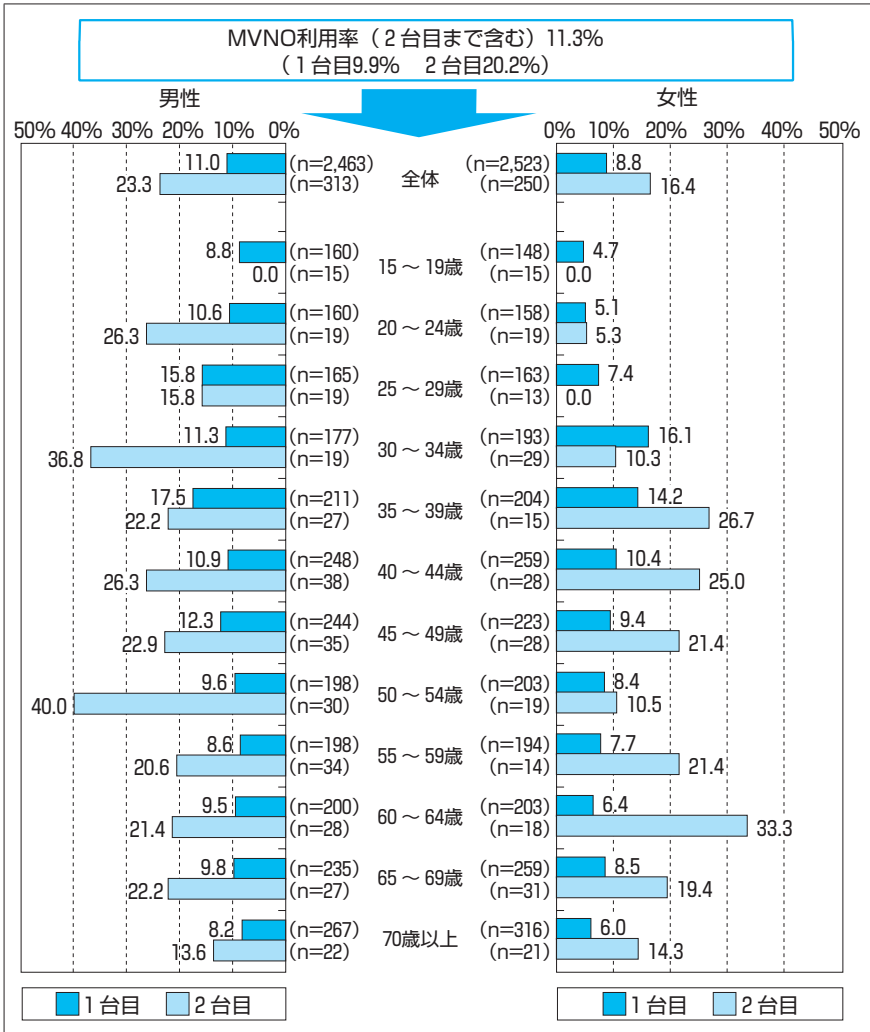
注 1 : スマホ・ケータイ所有者が回答。

注 2 : 「わからない」を除く。

出所 : 2018年一般向けモバイル動向調査

資料 1-5 MVNO利用率 (SA, 性・年代別)

- MVNO利用率 (2 台目まで含む) は11.3%, MVNO利用率 (1 台目) は9.9%, MVNO利用率 (2 台目) 利用率は20.2%と高くなっている。



注1：スマホ・ケータイ所有者が回答。

注2：「わからない」を除く。

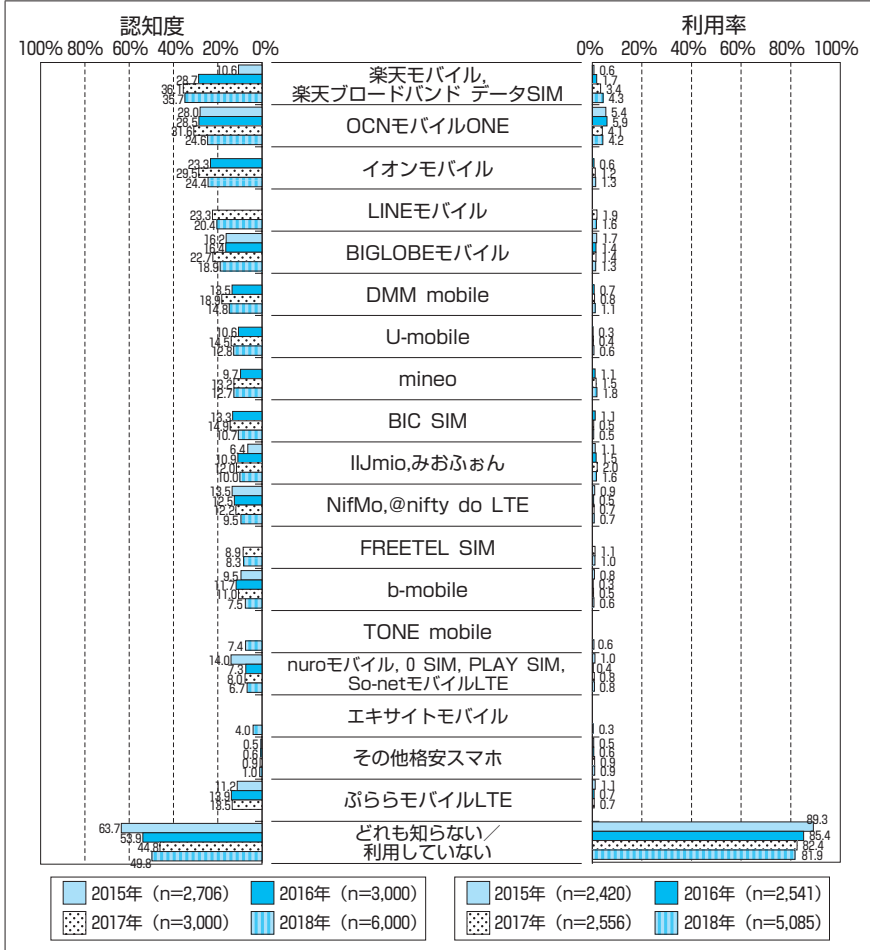
注3：回線契約している携帯電話会社を「UQコミュニケーションズ」「その他」と回答した人を「MVNO」とし、「Ymobile」は除く。

注4：1 台目もしくは2 台目にMVNO利用と回答した場合をMVNO利用として算出。

出所：2018年一般向けモバイル動向調査

資料 1-6 MVNOの認知度・利用率 (MA)

- 2018年のMVNO認知度が最も高いのは「楽天モバイル,楽天プロードバンド データSIM」の35.7%であり,唯一 3 割を超えている。2016年 9 月にサービス開始したLINEモバイルも 2 割を超え, 認知度を上げている。
- 2018年のMVNO利用率が最も高いのは「楽天モバイル,楽天プロードバンド データSIM」の4.3%。

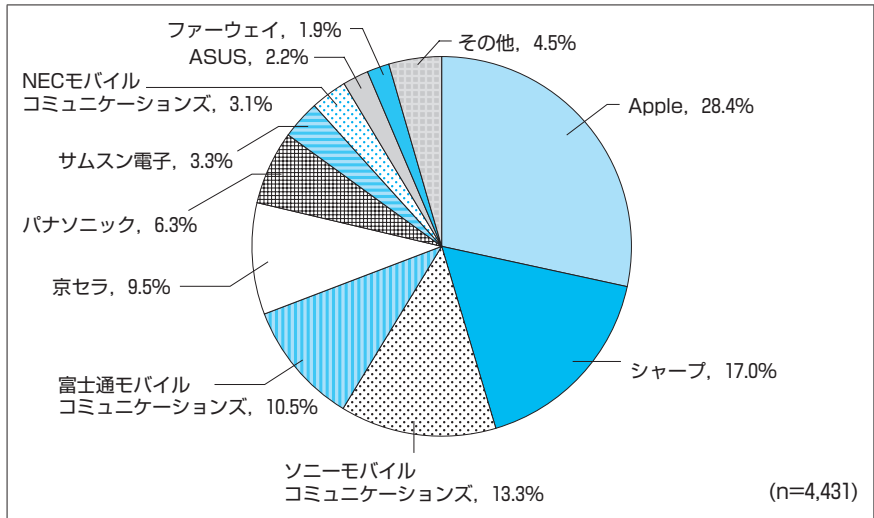


注 1 : 認知度は調査対象者全員が回答,利用率はスマホ・ケータイ所有者が回答。
 注 2 : イオンスマホはイオンモバイル, BIGLOBE LTE・3GはBIGLOBEモバイルに名称変更。
 注 3 : イオンモバイル, DMM mobile, U-mobile, mineo, BIC SIMは2015年には調査未実施, LINEモバイル, FREETEL SIMは2015, 2016年には調査未実施。TONE mobile, エキサイトモバイルは2015, 2016, 2017年には調査未実施, ぶららモバイルLTEは2017年11月30日サービス終了のため2018年は調査対象外。
 出所 : 2015年-2018年一般向けモバイル動向調査

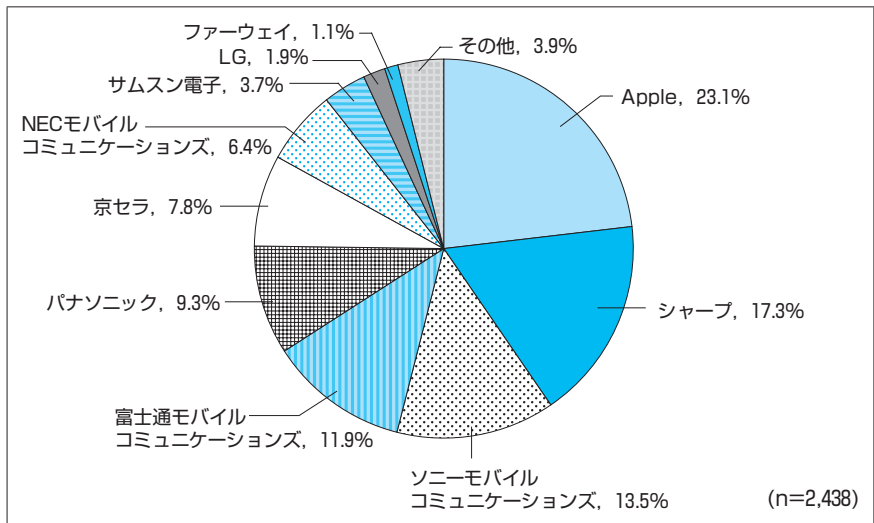
資料1-7 最もよく利用するスマホ・ケータイ（1台目）のメーカー（SA）

●「Apple」が最も高く、2016年の23.1%から2018年の28.4%と増加している。

◆2018年



◆2016年



注1：スマホ・ケータイ所有者が回答。

注2：「わからない」を除く。

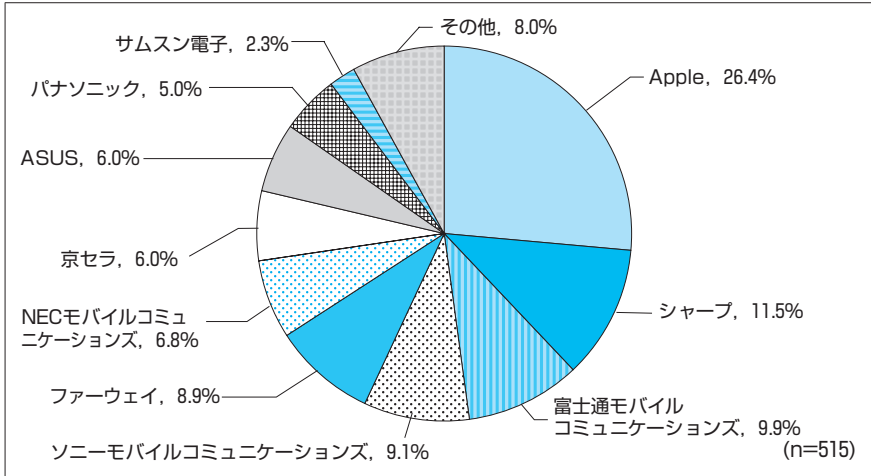
注3：11位以下のメーカーは「その他」に含む。

出所：2016年、2018年一般向けモバイル動向調査

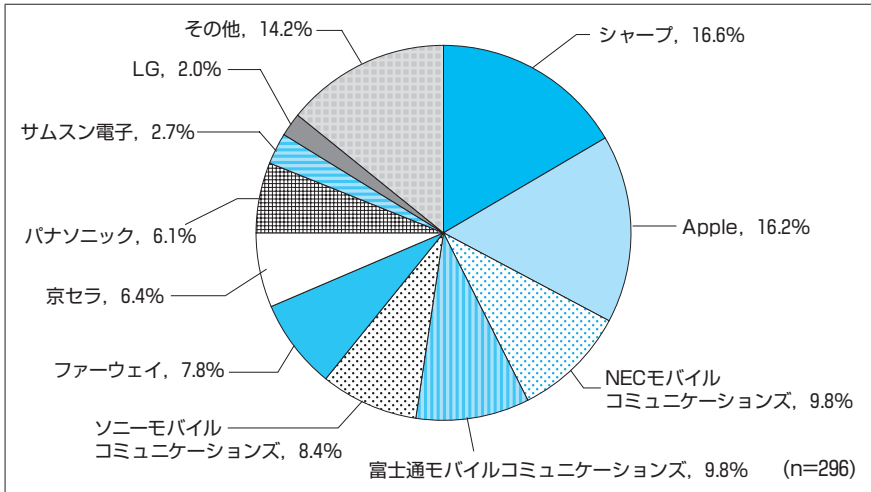
資料 1-8 スマホ・ケータイメーカー（2台目）（SA）

- 2016年は1位「シャープ」（16.6%）、2位「Apple」（16.2%）であったが、2018年は1位「Apple」（26.4%）、2位「シャープ」（11.5%）と逆転している。

◆2018年



◆2016年



注1：スマホ・ケータイ所有者が回答。

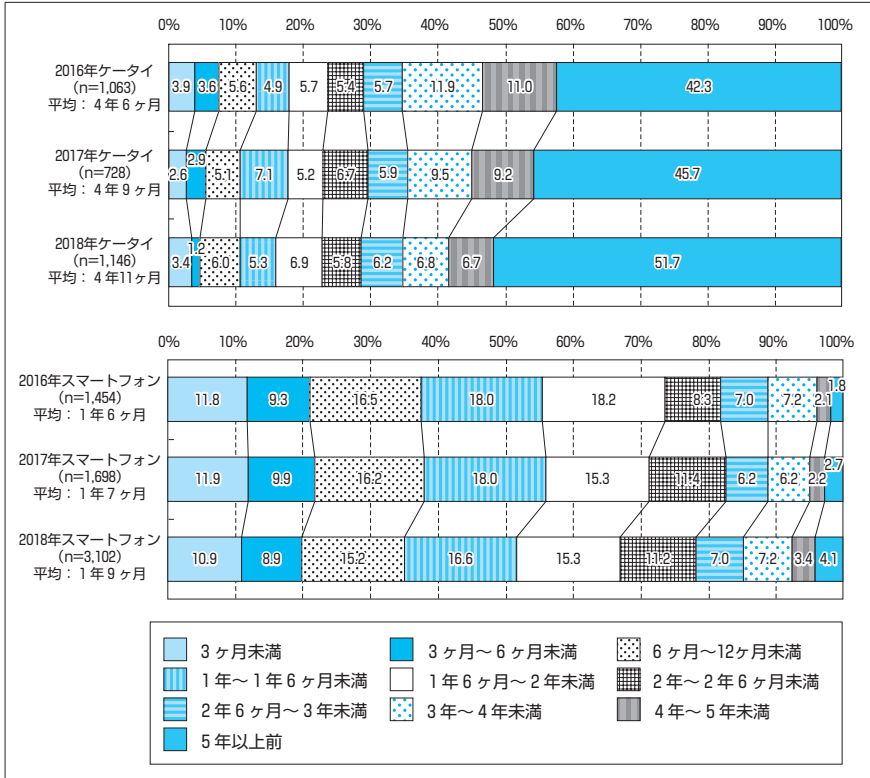
注2：「わからない」を除く。

注3：11位以下のメーカーは「その他」に含む。

出所：2016年、2018年一般向けモバイル動向調査

資料 1-9 スマホ・ケータイの所有期間 (SA)

- スマホ・ケータイともに平均所有期間が長くなっている。
- ケータイの平均所有期間は2016年の「4年6ヶ月」から2018年の「4年11ヶ月」に伸びた。
- スマートフォンの平均所有期間は2016年の「1年6ヶ月」から2018年の「1年9ヶ月」に伸びた。



注1：スマホ・ケータイ所有者が回答。

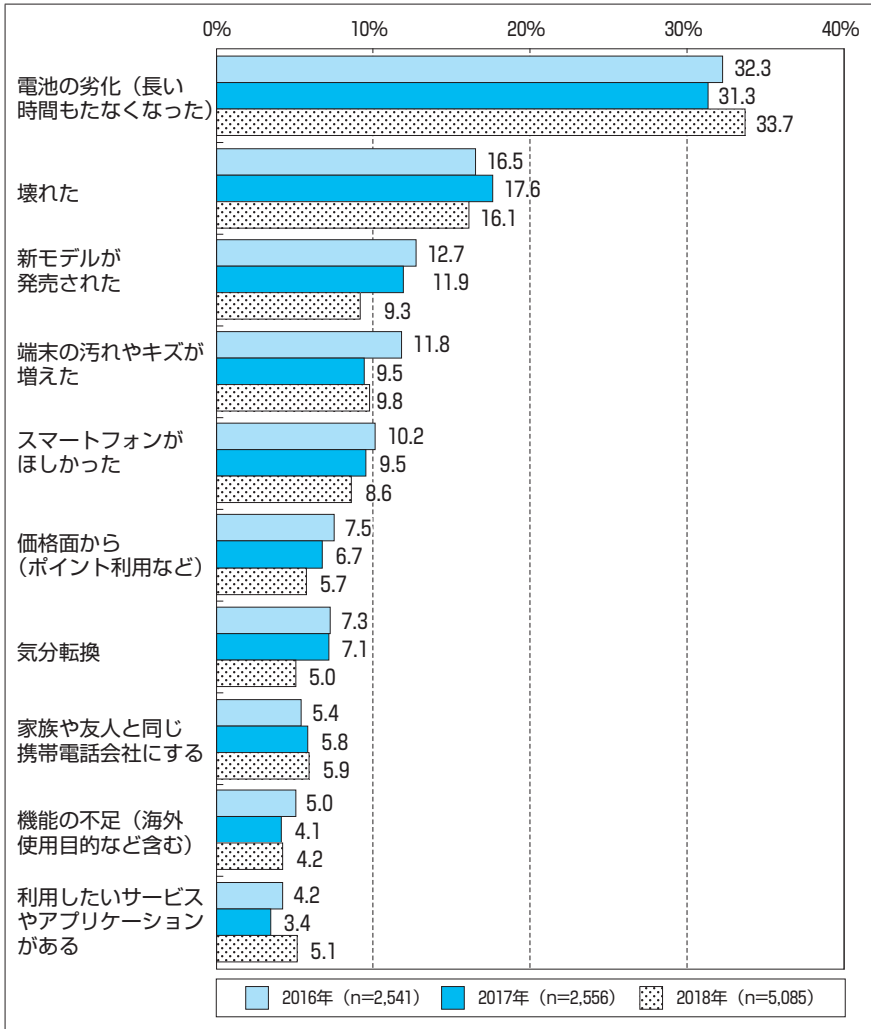
注2：「わからない」を除く。

注3：平均値は、「3ヶ月未満」を1.5ヶ月、「5年以上」を7.5年とし、他は中間値で加重平均したもの。

出所：2016年、2017年、2018年一般向けモバイル動向調査

資料 1-10 スマホ・ケータイを買い替えたきっかけ (MA)

●「電池の劣化」(33.7%) が突出している。



注：スマホ・ケータイ所有者が回答。

出所：2016年，2017年，2018年一般向けモバイル動向調査

資料 1-11 スマホ・ケータイの買い替え時に重視する点 (MA)

- 「端末価格」「通信料金の安さ」が2011年以降上位を独占しており、価格重視の傾向が見られる。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
2010年 (n=2,542)	端末価格	端末のデザイン	カメラ機能、 及びその性能	操作性	画面の大きさ	電波性能	端末の色
	60.2	54.6	51.9	50.5	50.0	40.5	35.1
2011年 (n=2,503)	端末価格	通信料金の安さ	操作性	端末のデザイン	カメラ機能、 及びその性能	携帯性	端末の色
	60.1	46.0	42.2	39.9	30.2	24.4	22.2
2012年 (n=2,481)	端末価格	通信料金の安さ	操作性	端末のデザイン	携帯電話会社や端末メーカーへの信頼	カメラ機能、 及びその性能	携帯性
	60.7	50.9	38.9	36.7	32.1	27.0	24.9
2013年 (n=2,730)	端末価格	通信料金の安さ	操作性	端末のデザイン	携帯電話会社や端末メーカーへの信頼	カメラ機能、 及びその性能	携帯性
	56.8	51.1	32.2	30.6	29.2	23.8	22.2
2014年 (n=2,743)	端末価格	通信料金の安さ	操作性	端末のデザイン	電波性能	携帯電話会社のブランドが好きだから	電池性能
	54.6	50.2	30.6	20.6	19.4	19.2	18.7
2015年 (n=2,420)	端末価格	通信料金の安さ	操作性	携帯電話会社のブランドが好きだから	端末のデザイン	画面が大きい	電波性能
	53.0	51.7	26.4	19.3	18.1	17.2	15.3
2016年 (n=2,541)	端末価格	通信料金の安さ	操作性	携帯電話会社のブランドが好きだから	メーカーや端末のブランドが好きだから	電池性能	端末のデザイン
	57.8	55.2	28.3	19.2	18.4	18.2	18.1
2017年 (n=2,556)	端末価格	通信料金の安さ	操作性	メーカーや端末のブランドが好きだから	携帯電話会社のブランドが好きだから	メモリ容量	画面が大きい
	53.0	51.6	25.5	17.4	17.1	16.0	15.9
2018年 (n=5,085)	端末価格	通信料金の安さ	操作性	携帯電話会社のブランドが好きだから	メモリ容量	画面が大きい	メーカーや端末のブランドが好きだから
	48.4	48.2	22.1	16.1	15.4	15.2	14.3

注1：スマホ・ケータイ所有者が回答。

注2：上位7位までを掲載。

出所：2010年-2018年一般向けモバイル動向調査

第2節 料 金

—どれくらい支払っているか

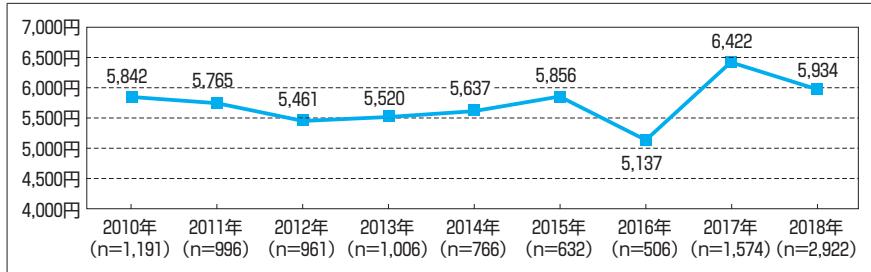
◆ポイント◆

- 月額利用料金は約6,000円（資料1-12）、通話料金は約2,700円（資料1-13）、パケット料金は約4,000円（資料1-14）。

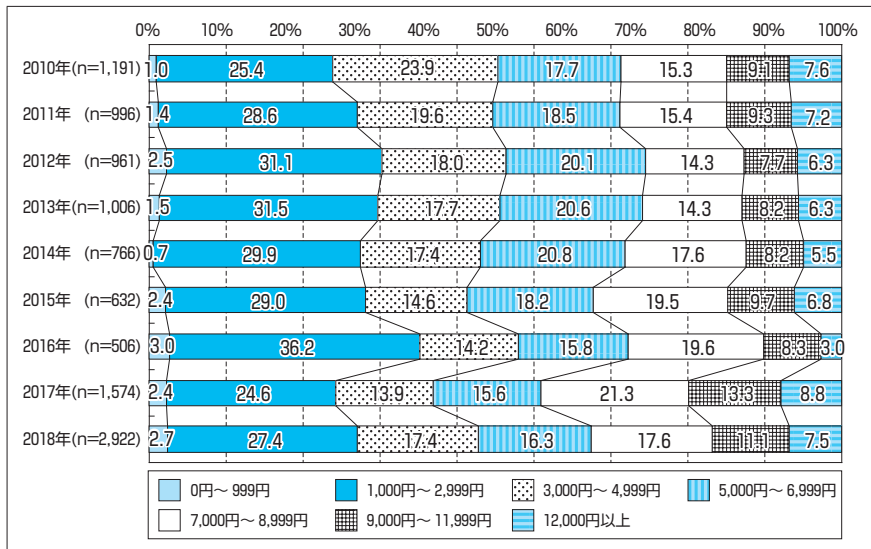
資料 1-12 最もよく利用するスマホ・ケータイの月額利用料金 (SA)

- 2018年の月額利用料金は5,994円。
- 月額利用料金は、2010年と比べて、ほぼ横ばい。
- 2018年の月額利用料金のボリュームゾーンは「1,000円～2,999円」で約3割を占める。

◆平均額



◆比率



注1：スマホ・ケータイ所有者が回答（利用料金明細書を見て記入）。

注2：「わからない」を除く。

注3：月額利用料総額は、基本使用料・通話料＋パケット料＋その他（ISP料金・コンテンツ料金等）。

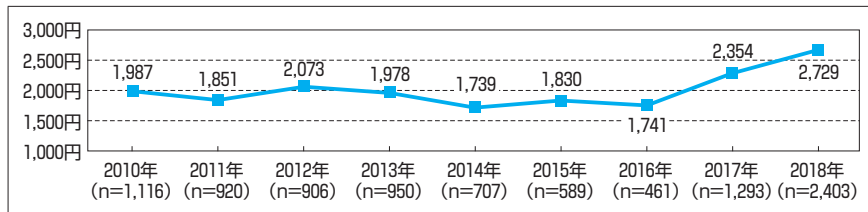
注4：平均値は「12,000円以上」を15,000円とし、他は中間値で加重平均したもの。

出所：2010年-2018年一般向けモバイル動向調査

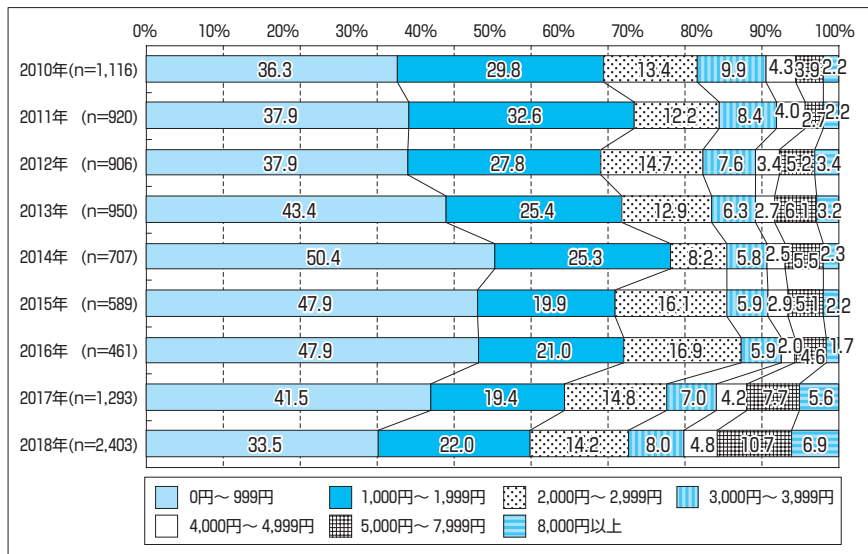
資料 1-13 最もよく利用するスマホ・ケータイの月額通話料金 (SA)

- 月額通話料金は2,000円前後で推移していたが、2018年は約2,700円と最も高い金額となった。
- 2018年の月額通話料金のボリュームゾーンは「0円～999円」で約3割を占める。

◆平均額



◆比率



注1：スマホ・ケータイ所有者が回答（利用料金明細書を見て記入）。

注2：「わからない」を除く。

注3：平均値は「8,000円以上」を10,000円とし、他は中間値で加重平均したもの。

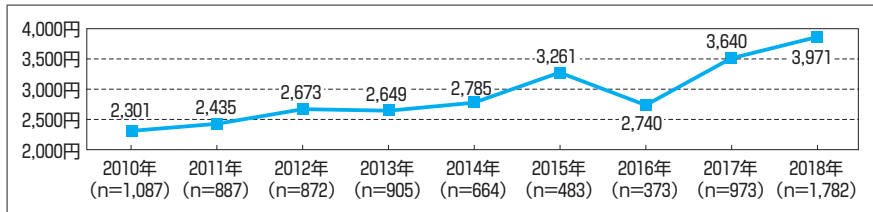
出所：2010年-2018年一般向けモバイル動向調査

資料 1-14

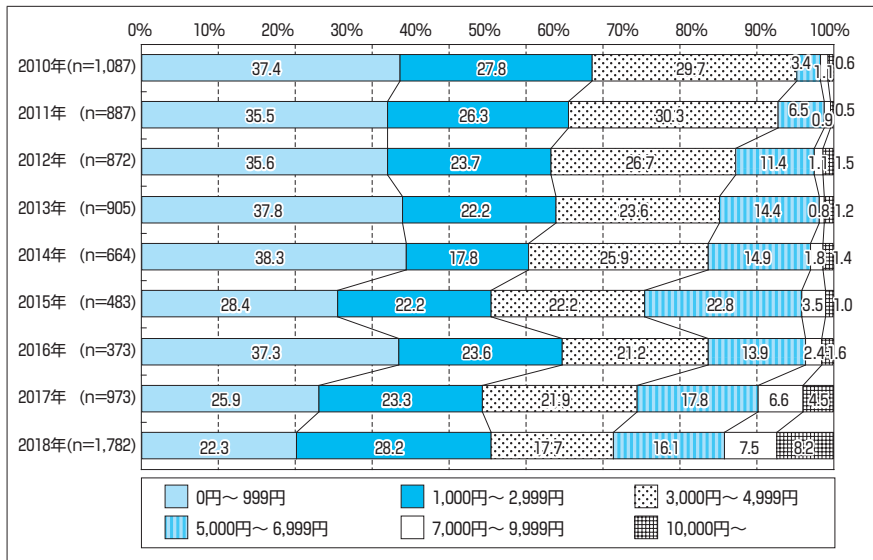
最もよく利用するスマホ・ケータイの月額パケット料金 (SA)

- 月額パケット料金は約2,300円～4,000円程度で推移、2018年は約4,000円と、最も高い金額となった。
- 2018年の月額パケット料金のボリュームゾーンは「1,000円～2,999円」で約3割を占める。
- 2016年以降、多少前後するものの、5,000円以上が増加傾向。

◆平均額



◆比率



注1：スマホ・ケータイ所有者が回答（利用料金明細書を見て記入）。

注2：「わからない」を除く。

注3：平均値は「10,000円以上」を12,000円とし、他は中間値で加重平均したもの。

出所：2010年-2018年一般向けモバイル動向調査

第3節 通信回線

——家／屋外では何とつながっているか

◆ポイント◆

- 主要3社については、家族間で同じ携帯電話事業者を契約する傾向がみられる（資料1-15，資料1-16）。
- 配偶者間で同じ携帯電話事業者で契約する割合が、Y!mobile同士、MVNO同士で高い（資料1-15）。
- スマートフォン所有者に限定すると、家庭内無線LAN（Wi-Fi）の利用が7割強（資料1-18）。

資料 1-15 家族のスマホ・ケータイの契約先携帯電話事業者 (SA)

- 家族間のいずれの関係においても、「NTTドコモ」(60%以上)、「KDDI」(50%以上)、「ソフトバンク」(40%以上)と、同じ携帯電話事業者を契約する傾向がある。
- 配偶者間で同じ携帯事業者で契約する割合が、Y!mobile同士 (58.9%)、MVNO同士 (53.6%) で高い。

(%)

自分 (1台目)	父						母					
	全体 (n)	NTT ドコモ	KDDI	ソフト バンク	Y!mobile	MVNO	全体 (n)	NTT ドコモ	KDDI	ソフト バンク	Y!mobile	MVNO
全体	1,841	40.9	26.3	17.1	4.1	11.6	2,279	40.1	26.8	17.8	4.1	11.1
NTTドコモ	753	81.9	10.4	5.8	1.1	0.8	915	82.6	10.2	5.2	1.5	0.4
KDDI	484	23.1	67.8	5.6	2.1	1.4	611	17.5	71.2	6.9	2.3	2.1
ソフトバンク	315	29.5	12.7	53.3	1.6	2.9	406	25.9	15.0	54.4	2.7	2.0
Y!mobile	75	41.3	14.7	20.0	20.0	4.0	93	34.4	20.4	15.1	25.8	4.3
MVNO	214	41.1	29.0	15.4	3.3	11.2	254	38.2	27.2	13.0	2.8	18.9

(%)

自分 (1台目)	兄弟姉妹						配偶者					
	全体 (n)	NTT ドコモ	KDDI	ソフト バンク	Y!mobile	MVNO	全体 (n)	NTT ドコモ	KDDI	ソフト バンク	Y!mobile	MVNO
全体	2,090	41.9	27.3	17.1	3.4	10.3	2,521	41.7	23.8	19.1	5.6	9.8
NTTドコモ	875	71.3	15.2	10.5	0.9	2.1	1,050	88.3	5.7	3.4	0.8	1.8
KDDI	570	23.2	58.4	12.5	2.1	3.9	601	9.7	82.9	4.2	1.3	2.0
ソフトバンク	358	28.2	17.6	46.4	3.1	4.7	481	8.5	6.7	78.6	3.7	2.5
Y!mobile	72	34.7	25.0	20.8	16.7	2.8	141	16.3	11.3	9.2	58.9	4.3
MVNO	215	38.1	23.7	18.1	2.8	17.2	248	19.4	15.3	9.3	2.4	53.6

(%)

自分 (1台目)	子・子の配偶者						孫					
	全体 (n)	NTT ドコモ	KDDI	ソフト バンク	Y!mobile	MVNO	全体 (n)	NTT ドコモ	KDDI	ソフト バンク	Y!mobile	MVNO
全体	1,718	41.1	25.1	19.4	5.6	8.8	203	45.8	23.2	20.7	4.9	5.4
NTTドコモ	706	76.9	9.2	9.1	0.8	4.0	93	61.3	19.4	14.0	2.2	3.2
KDDI	431	11.1	73.8	8.4	2.1	4.6	47	19.1	61.7	12.8	0.0	6.4
ソフトバンク	334	9.9	9.0	73.4	5.7	2.1	42	9.5	19.0	54.8	9.5	7.1
Y!mobile	96	19.8	15.6	29.2	29.2	6.3	10	20.0	10.0	40.0	30.0	0.0
MVNO	151	23.2	16.6	16.6	2.6	41.1	11	81.8	9.1	0.0	0.0	9.1

注1：スマホ・ケータイ所有者が回答。

注2：家族のスマホ・ケータイの契約先携帯電話事業者について「持っていない」「わからない」「対象者がいない」を除く。

注3：自分=回答者とし、最もよく利用するスマホ・ケータイ（1台目）と家族のスマホ・ケータイの契約先携帯電話事業者の組み合わせについて集計。

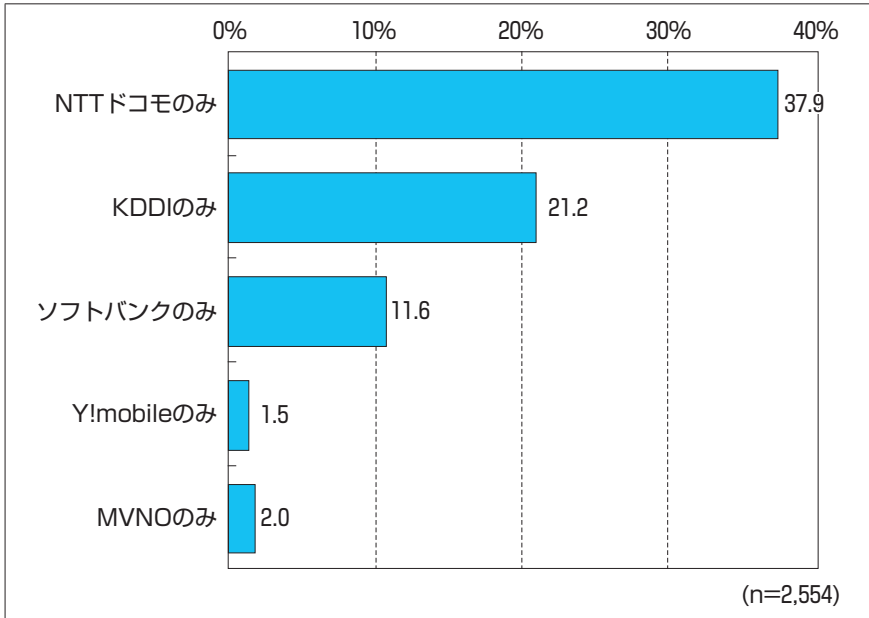
注4：契約している携帯電話会社を「UQコミュニケーションズ」「その他」と回答した人を「MVNO」として集計。

注5：表中の太線四角囲みは、同じ主要携帯電話事業者および配偶者同士のY!mobileとMVNO利用者。

出所：2018年一般向けモバイル動向調査

家族間でのスマホ・ケータイ同一携帯電話事業者の契約状況 (SA)

- 「NTTドコモのみ」(37.9%)、「KDDIのみ」(21.2%)、「ソフトバンクのみ」(11.6%)となっている。



注1：スマホ・ケータイ利用者が回答。

注2：最もよく利用するスマホ・ケータイ（1台目）について「わからない」と回答した人を除く。

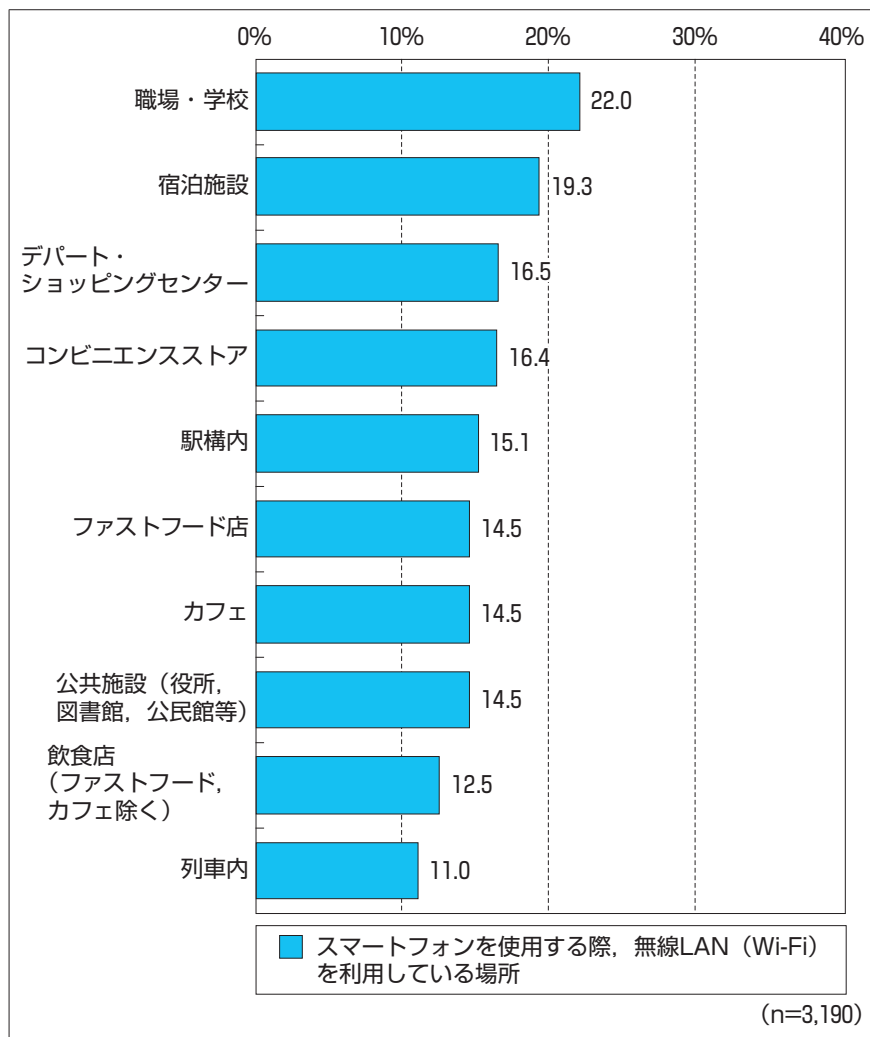
注3：最もよく利用するスマホ・ケータイ（1台目）と家族とのスマホ・ケータイの契約先携帯電話事業者の組み合わせについて集計。

注4：「父・母・義父母」「兄弟姉妹」「配偶者」「子・子の配偶者」「孫」のいずれかがいると回答した人を対象としてその全員が同一携帯電話事業者の契約をしているかを集計。

出所：2018年一般向けモバイル動向調査

資料 1-17 外出先での無線LAN (Wi-Fi) 利用場所 (MA)

- スマートフォン所有者に限定して外出先での無線LAN (Wi-Fi) の利用場所を見ると、「職場・学校」での利用率が22.0%と高く、次いで「宿泊施設」19.3%となっている。

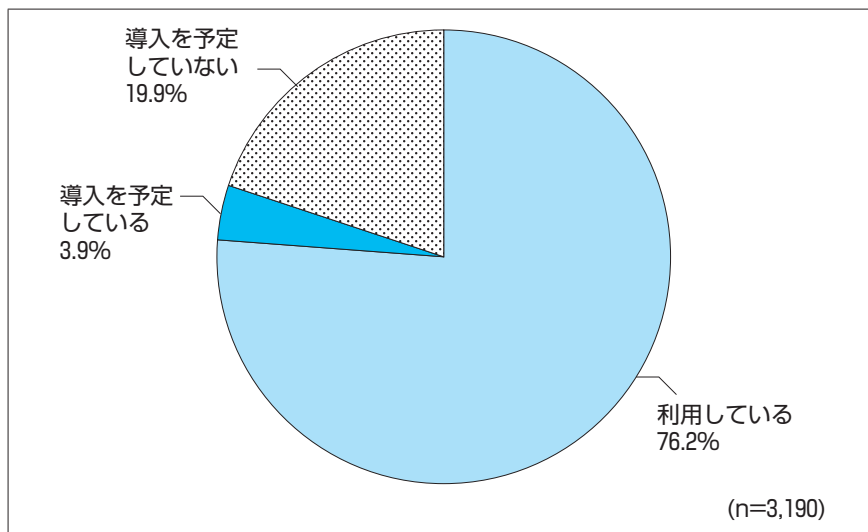


注：スマートフォン所有者が回答。

出所：2018年一般向けモバイル動向調査

資料 1-18 家庭内無線LAN (Wi-Fi) 利用・導入状況 (SA)

- 「利用している」が76.2%となっている。

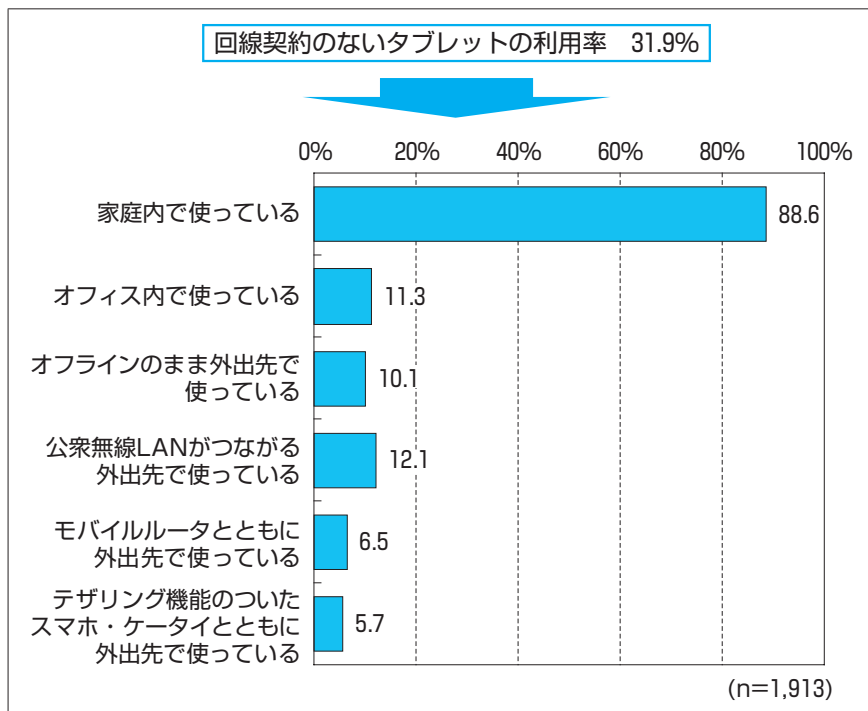


注：スマートフォン所有者が回答。

出所：2018年一般向けモバイル動向調査

資料 1-19 回線契約のないタブレットの利用状況/ネットワーク環境 (MA)

- 回線契約のないタブレットの利用率は31.9%。
- 「家庭内で使っている」が88.6%と高い。



注：「回線契約のないタブレットの利用率 (31.9%)」は「スマホ・ケータイ未所有者を含む全回答者 (n=6,000)」を母数として、「回線契約のないタブレット利用者 (n=1,913)」を除いたもの。

出所：2018年一般向けモバイル動向調査